

## 学校経営推進費 評価報告書（最終）

### 1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立淀商業高等学校
取り組む課題	授業改善への支援（生徒の学力の充実）
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商業科におけるビジネスに関する資格取得率の向上</li> <li>・ 福祉ボランティア科における介護職員初任者研修、国家資格介護福祉士の資格取得率の維持</li> <li>・ 生徒アンケートによる心豊かな職業観の肯定的回答率の向上</li> <li>・ 連携団体や企業、行政などのステークホルダー（外部評価）による肯定的回答率の向上</li> </ul>
計画名	<p>生徒の真の学力を育む淀翔プロジェクト</p> <p>～資格取得だけに留まらない持続可能な社会の創り手をめざして～</p>

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>生徒の真の学力を育む淀翔プロジェクト～資格取得だけに留まらない持続可能な社会の創り手をめざして～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資格取得率             <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）商業科では卒業時に、全商簿記検定 2 級、全商情報処理検定（ビジネス情報部門）2 級の取得率をそれぞれ 70%以上、会計コース全商簿記検定 1 級の取得率を 20%以上とする。</li> <li>（2）福祉ボランティア科では介護職員初任者研修 100%、国家資格介護福祉士取得率を 95%以上とする。</li> </ol> </li> <li>2. 心豊かな職業観を育む体験学習             <p>生徒アンケートによる「販売実習（介護実習）を通じて、ビジネス（介護福祉）に関する仕事の魅力を理解することができた」の肯定的回答率 70%以上をめざす。</p> </li> <li>3. 持続可能な社会の創り手を育む教育（ESD）             <p>連携団体や地域企業、行政などのステークホルダーによる「社会的価値がある活動である」の肯定的回答率 70%以上をめざす。</p> </li> <li>4. 3 年間の研究成果について他校への発信・普及公開授業・実践報告会の実施、HP での発信および他校への指導助言</li> </ol>
事業目標	<p>実業系高校の志願者数は年々減少しており、本校においても基礎学力や基本的な生活習慣が身につけていない生徒が見受けられる。だからこそ、本校では職業教育を通じて生徒一人ひとりの自己実現に向けた社会人としての必要な素養を身につけるとともに「基礎学力の充実と資格取得」の重要性が増している。さらに資格取得にとどまらず、現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、変化の激しい時代の未来を切り拓く力を身につけるために ICT を効果的に活用し、実践的・体験的な活動を通じて「地域社会に貢献できるビジネスパーソン」「超高齢社会を支える介護・福祉分野のプロフェッショナル」の育成に向けた持続可能な社会の創り手を育む教育（ESD）の推進を事業目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）ICT を活用した基本的かつ専門性の高いビジネス教育・介護福祉教育の指導方法の開発             <p>目標：商業科では、流通科学コース全商ビジネス計算実務検定 1 級、会計科学コース全商簿記検定 1 級、情報科学コース全商情報処理検定（ビジネス情報部門）1 級の取得率をそれぞれ 20%以上、2 級の取得率をそれぞれ 70%以上とする。</p> <p>目標：福祉ボランティア科では、介護職員初任者研修 100%維持、国家資格介護福</p> </li> </ol>

	<p>社士の資格取得率を毎年 95%以上をめざす。</p> <p>(2) 専門的知識や技術をいかして、心豊かな職業観を育む体験的な学習の研究 目標：生徒アンケートによる「販売実習（介護実習）を通じて、ビジネス（介護福祉）に関する仕事の魅力を理解することができた」の肯定的回答率を令和 6 年度までに 70%以上をめざす。</p> <p>(3) ICT 社会・少子高齢化社会に対応した持続可能な社会の創り手を育む教育（ESD）の実践 目標：連携団体や地域企業、行政などのステークホルダー（外部評価）による「社会的価値がある活動である」の肯定的回答率を 70%以上をめざす。</p>
整備した 設備・物品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板機能付き短焦点プロジェクター一式 9 台</li> <li>・インターフェイスボックス 9 台</li> </ul>
取組みの 主担・実施者	<p>主 担：校長、教頭、首席、教務主任、商業科長、福祉ボランティア科長、ICT 委員会</p> <p>実施者：商業科教員および福祉ボランティア科教員を中心とする全教員</p>
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業科では、I C T を活用したマーケティング調査に関する授業の実施や西淀川区役所と連携を通して、第 10 回淀翔モールの開催における集客率、顧客満足度等を上昇させる取り組みを実施。今年度は 2 年生に加え 3 年生も出店し規模を拡大し実施した。そのため、販売用の冷蔵ケースや販促用のボードを新規購入し、取り扱い商品を増加させることができた、集客数や満足度の増加につなげることができた。</li> <li>・福祉ボランティア科では外部講師を招き、課題探究型学習を実施した。また、介護の日の啓発活動や高齢者の心豊かな生活を支えることをテーマとした教科横断型授業を実施した。</li> </ul>
成果の検証方法 と評価指標	<p>1. 資格取得率</p> <p>(1) 商業科では卒業時に、流通科学コース 全商ビジネス計算実務検定、会計科学コース 全商簿記検定、情報科学コース 全商情報処理検定（ビジネス情報部門）それぞれについて、1 級の取得率 20%以上、2 級の取得率 70%以上を目標とする。</p> <p>(2) 福祉ボランティア科では介護職員初任者研修 100%、国家資格介護福祉士取得率を 95%以上とする。</p> <p>2. 心豊かな職業観を育む体験学習</p> <p>(1) 生徒アンケートによる「販売実習（介護実習）を通じて、ビジネス（介護福祉）に関する仕事の魅力を理解することができた」の肯定的回答率 70%以上をめざす。</p> <p>3. 持続可能な社会の創り手を育む教育（ESD）</p> <p>(1) 連携団体や地域企業、行政などのステークホルダーによる「社会的価値がある活動である」の肯定的回答率 70%以上をめざす。</p>
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT を活用した授業を取り入れるなど授業の効率化と指導方法の工夫を試みた結果、全商簿記検定 1 級 50.0%、全商情報処理検定 2 級 63.0%の取得率となった…………… (○)</li> <li>・校内や施設実習での高度な介護技術や補習授業による知識の習得をもとに、介護職員初任者研修 100%、国家資格介護福祉士 98.0%で目標を達成した。…………… (◎)</li> <li>・「販売実習（介護実習）を通じて、ビジネス（介護福祉）に関する仕事の魅力を理解することができた」の肯定的回答率 82.2%であった。…………… (◎)</li> <li>・地域企業や施設と連携した取組み、授業、実習等を実施した。外部評価では「社会的価値がある活動」に対し肯定的回答率が 82.8%であった。…………… (◎)</li> </ul>
事業のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門高校として、実践的な学習の充実に向け、設備・備品の充実や外部講師を招き、専門的な知識や技能習得の授業に取り組んできた。商業科、福祉ボランティア科ともに、現代社会のニーズに応じた教育をめざし、企業や関係団体、大学等との連携を深めながら、教員の資質向上も進めていることから、より実践的な力が身につく教育の充実が図れたものと考えている。</li> <li>・商業に関する検定取得については、将来の進路を見据えた指導方法の開発を重ねたい。</li> </ul>

	<p>介護実習等においては、主体性の育成に大きな活動であり来年度以降も改善と工夫を重ね魅力につなげたい。引き続き地域との連携を深め、地域の課題等について検証し、解決に向けた取組みについて学びを深めたい。</p>
--	---

3. 事業費報告

今年度事業費総額	324,182	円
----------	---------	---

積算内訳

\* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

積算内訳	科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
	1 報償費	1	ビジネス教育 社会実業家等講師料	¥5,000	8	¥40,000
		2	介護福祉教育 介護福祉士等の講師料	¥5,000	7	¥35,000
		3	ステータスホルダー 指導助言講師料	¥8,000	3	¥24,000
					小計	99000
	2 旅費	1	関西商業教育研究大会和歌山大会	¥21,580	1	¥21,580
		2	全国産業教育フェア福井大会	¥72,020	1	¥72,020
		3				
					小計	93600
	3 消耗需用費	1	VR機能付ゴーグル	¥46,200	2	¥92,400
		2	同付属品（バッテリー・携帯ケース）	¥16,346	2	¥32,692
		3	同付属品（適用ケーブル）	¥3,245	2	¥6,490
					小計	131582
					合計	¥324,182